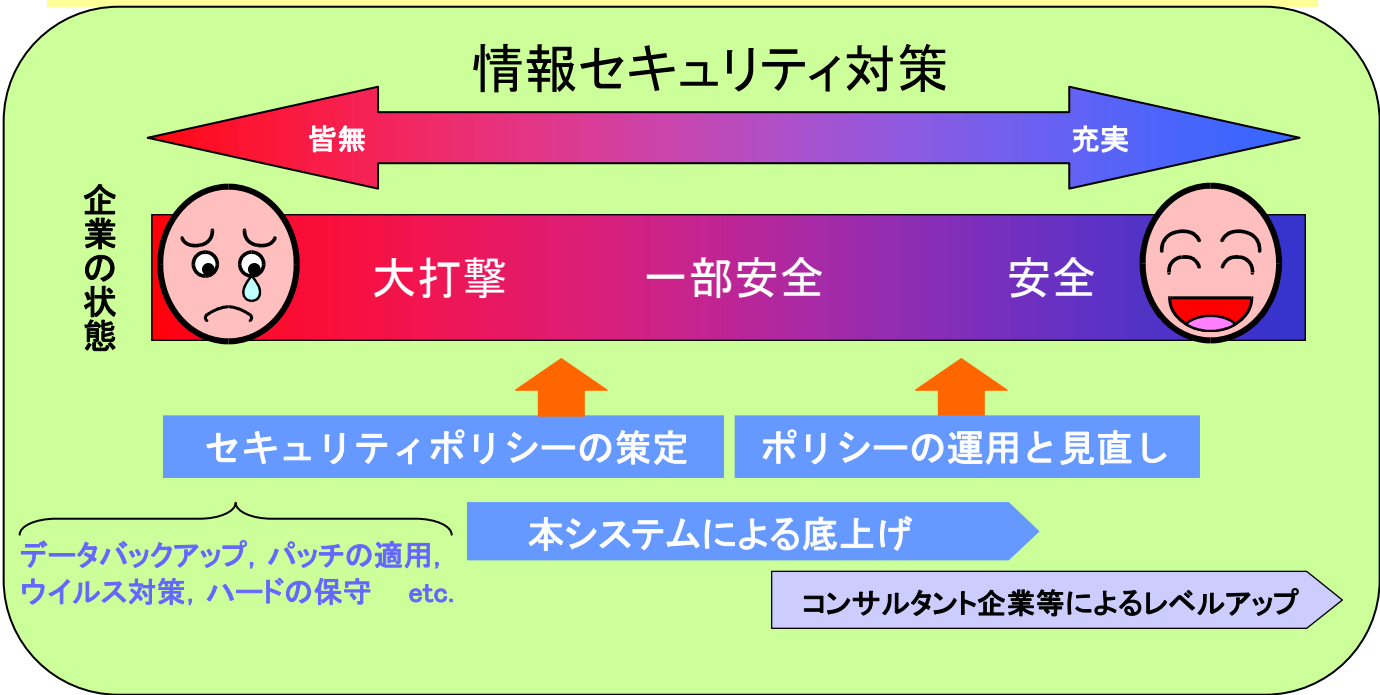


情報セキュリティ対策支援システムの開発

情報セキュリティポリシーは、企業の情報資産を守り、損失を防いでくれる大切な役割をもっています。



開発したシステムでのセキュリティポリシー作成の流れ

1) 現状の対策に関する質問に答える

27	情報処理施設および設備を物理的に保護するため、保護領域の境界を明示し、適切な障壁を設置すること。	実施中 未実施 対象外
28	保護領域への物理的な人の出入りに関する規則を確立し、不審者や非許可者の立ち入りについて監視すること。	実施中 未実施 対象外
29	主要な設備・施設の目的・場所を外部から隠蔽し、危険物や可燃物から隔離し、必要に応じて侵入検知システムを導入すること。	実施中 未実施 対象外

2) リスクについての発生頻度や危険度を入力する

17	過失、操作ミス、取扱いミスや入出力装置のハードウェア障害などによるコンピュータシステム、データ、記憶媒体の損傷・破壊	3	2
18	廃棄したパソコン・記憶媒体・印刷物からの情報漏洩	1	2
19	情報機器の修理時に、データ暴露・破壊	2	2

3) 対策ごとの重要度が順位ごとに算出される

1	6	運用手順及び責任	54	ネットワークを介したシステムのアクセスやデータ交換におけるリスクを排除するため、適切なネットワーク利用の規則を確立し実施すること。	未実施	25
2	8	システムのセキュリティ要求事項	100	情報保護のための暗号化は、暗号利用手順に基づいて適切に行われること。	未実施	24
3	9	事業継続管理の種々の面	117	故障、災害、外部からの攻撃などを分析し、適切なリスク評価を実施し、事業継続計画へ反映させること。	実施中	22

4) 詳細な対策の実施方法を選択する

5) およそ2時間でセキュリティポリシーの基本部分ができあがる。